

令和 7 年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	27	学校名	富士宮東高等学校	校長名	鈴木 香
------	----	-----	----------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自己管理能力育成のため、心身の健康の増進と基本的な生活習慣の確立を図る。	高校生としての生活・学習の習慣が身に付いたと答える生徒90%以上	95.9%	B	・自転車指導及び交通ルールについては、市内で死亡事故があったこと等に鑑み、次年度からヘルメットの所持を確認し、着用を指導する・いじめについてのアンケートの回答は44件(3.4%)、いじめの認知は5件であった。これは、いじめについて、初期段階から組織的に対応するという国や県の方針に則って対応した結果である。加害者不明の3件を除き、現在は解消されているが引き続き見守っている。
		しっかりと準備をして定期試験に臨めたと答える生徒70%以上	71.4%		
		基本的な生活習慣を身に付けるための適切な指導がされていると答える生徒・保護者95%以上	生98.3% 保94.7%		
		自転車指導を受けた生徒月平均3件以内	3.6(4～10月平均)		
		交通ルールが守れていると答える生徒100%	98.9%		
		安心して学校生活を送れていると答える生徒95%以上	93.6%		
		自身がいじめを受けたり、他人がいじめを受けているのを見たりしたことがあると答える生徒0%	3.4%		
イ	基礎学力の定着に加え、主体的・探究的に学ぶ姿勢を培う。	授業が分かると答える生徒95%以上	96.4%	B	・教員がICTの活用、生徒の実態把握などの授業改善に取り組んだ結果、生徒は授業内容がわかると回答した。しかし、自主的な学習習慣の形成に課題が多い。 ・「授業改善に積極的に取り組んだ」という教員の値が90%にとどまるのは、「年間3回以上の授業参観」などの研修参加回数を評価項目に加えたこと等により、教員が控えめに回答したためである。 ・「興味を持てる本に出会えた」という項目は、読書の状況を具体的につかみにくいため、次年度は図書室の利用状況が増加するよう、変更する。
		授業改善に積極的に取り組んだと答える教員100%	90.3%		
		スタディーサポートにおける国数英総合判定でC2以上の生徒50%以上	40.3%		
		探究力が向上したと自己評価する生徒60%以上	83.2%		
		桜丘タイムを組織的・体系的に展開し、探究活動の充実を図れた。」とする教員が70%以上	90.3%		
		自主的な学習の習慣が身に付いたと答える生徒85%以上	77.0%		
		課題の量と質が適切であったと答える生徒70%以上・教員80%以上	生91.0% 教80.6%		
興味を持てる本に出会えたと答える生徒50%以上	85.9%				

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ウ	主体的な活動を促し、他者との関わりの中で成長を実感できる機会を創出する。	生徒会や委員会・係活動を通して、集団に貢献することができたと答える生徒 90%以上	92.8%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「集団への貢献」については、アンケートの問いに「学級集団への貢献」を追加したところ、達成状況が前年と比べて大幅に向上した。引き続き、生徒が自主的に生徒会活動等に参画するよう、取り組んでいく。 ・国際交流は、地域の日本語学校との交流や、オンライン交流を継続していく。 ・ボランティアに主体的に参加する生徒が増加するよう、呼びかけていく。
		学校行事に積極的に参加したと答える生徒 95%以上	97.4%		
		部活動に積極的に参加したと答える生徒登録生徒の 95%以上	94.2%		
		地域との連携やボランティア活動へ参加する生徒 70%以上	73.6%		
		地域の海外ルーツの方と積極的に交流し、海外への興味が深まったとする生徒が参加者の 70%以上	98%		
		海外研修制度への応募数延べ 10 件以上。	8 件 (採用率 50%)		
		1 部活動 1 ボランティア実施部活動率 100%	100%		
エ	検定取得の機会を保障し、進路選択に関する指導の充実を図る。	実用英語技能検定、漢字検定の受検者が生徒数の 20%以上、合格者が受検者の 40%以上	受検者 (英) 15.7% (漢) 16.6%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・検定取得については、受検者と合格者共に目標には到達しなかった。次年度は検定取得を推進する新委員会を発足させ、検定受検者と合格者が増加するよう、様々な手立てを講ずる。 ・進路指導に満足する保護者の割合がやや低いため、進路指導情報の提供を積極的に行っていく。
		進路目標達成のために努力していると答える生徒 90%以上	92.8%		
		進路指導に満足していると答える生徒・保護者 90%以上	生 93.8% 保 85.4%		
		進学希望者の進路実現率 100%	88.7%		
		就職希望者内定率 100%	100%		
		進路シラバスや教育支援ツールを面接や生活・進路指導に活用した教員 80%以上、生徒 80%以上	教 83.9% 生 87.0%		
オ	学科やコースの特色を生かし、福祉の心や芸術に親しむ豊かな感性を醸成する。	福祉講座の来場者が各 10 人以上	7.6 人	B	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉講座は 3 回実施した。参加者に好評だった介護講座等の企画を、引き続き地域住民が参加しやすい時間帯等に設定して行っていく。 ・福祉科の介護福祉士国家試験は 7 年連続して 100% だった。引き続き放課後の補習等で受験対策を行っていく。 ・アートコースは、外部機関とのコラボレーションを継続し、生徒にアウトプットの機会を設定して自己表現力を高めさせる。
		地域連携により、介護福祉への興味・理解がより深まった生徒 80%以上	98.9%		
		介護実習が充実していたと答える生徒 100%	96.7%		
		介護福祉士国家試験の合格率 100%	100% (R06)		
		アートコース 進路実現目標達成率 80%以上	70.8%		
		校外作品展・コンテスト等への出品率 100%及び受賞 20 件以上	13 件		
		アートコース作品展への来場者 700 名以上	757 人		
		アート・多様な人々と課題を共有し、協働して取り組めた生徒 70%以上	100%		

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
カ	地域を愛する心を育てるとともに、地域や保護者から信頼される魅力ある学校を目指す。	PTA 通信など、学校からの情報発信を通して、学校での生徒の様子がわかると答える保護者 80%以上	93.9%	A	<ul style="list-style-type: none"> PTA 通信は紙媒体でなく、ホームページ上に掲載する形式に変更して2年目だが、PTA 役員が紙面を大幅にリニューアルして、好評であった。 オープンスクールは3回実施し、いずれも好評だったが、アンケートの形式は改善の余地がある。
		学校HPやSNSによる情報発信 年500回以上	850回		
		オープンスクール等に参加してよかったと答える参加者 80%以上	97.4%		
キ	安全教育を推進し、安心安全な教育環境の整備・美化に努める。	災害時の学校の対応を理解し、自分にできる準備をしていると答える生徒 95%以上	91.3%	A	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の学校の対応は理解しているとする生徒が多いが、次年度はより防災意識を高めるため、成果目標を地域防災訓練の参加率に変更する。
		校内美化が保たれていると答える生徒 90%以上	97.0%		
		学校の施設設備は安全に配慮されていると答える生徒 95%以上	97.4%		
		施設設備に係る生徒事故 0件	0件		
ク	常に進化し続ける学校であるために、教職員の資質向上と働き方の改善を図る。	信頼できる先生がいると答える生徒 90%以上	92.3%	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員不祥事につながりかねない個人情報についてのヒヤリハット案件があったが、全職員が情報管理の意識を高め、再発防止策を講じた。 定時退勤日は特定の曜日ではなく、職員が定時退勤しやすい曜日を自主的に設定してもらうこととする。
		教職員不祥事 0件	0件		
		教職員ストレスチェック結果の向上 ➡ B以上	やや良好		
		定時退勤日を設定し、退勤日の定時退勤実施率 50%以上	64.1%		
		夏季休暇取得率 100%	97.2%		